

【短報】コメツキムシ科甲虫4種の羽化脱出例

コメツキムシ科の幼虫は、大平（1962）に非常に良くまとめられており、活動性、生息環境や食性に関しても記録、考察されている。しかし、依然として、詳細な生態が判明している種は本科全体のごく一部であり、幼虫時の多様な生息環境を理解できているとは言い難い。著者の一人、溝部は、鹿児島島の大隅半島において倒木の採取を行い、複数の本科種を羽化脱出させた。

確認した4種は全て、1本のエノキ *Celtis sinensis*（アサ科 Cannabaceae）の倒木から羽化脱出したものである。倒木があった場所は、海の端近くで標高50 m程、村落から海へ抜ける小道脇の小さな枯れ沢である。周辺は、ツバキなどの照葉樹の小木で囲まれており、斜面は南向きで日当たりが良く、普段は乾燥しているが、雨天時は沢に水が流れるようになっている（図1）。この倒木は2005年6月の時点では、立ち枯れの状態であった。しかし2009年12月にはすでに倒木になっており、ムカデ類が数匹住み着いていた程に朽ちた状態となっていた。2009年に採取した倒木の一部からはニセナガアシヒゲナガゾウムシ *Habrissus analis* やメナガヒゲナガゾウムシの一種 *Ulorhinus* sp. が羽化脱出した。

その後、2012年1月、2012年12月、2013年12月の3回にわたって、倒木の一部を採取し（図2）、福岡県の室外気温下で保管していたところ以下の4種のコメツキムシが羽化脱出した。

1. ヒメホソキコメツキ *Procræurs (Agripenthes) helvolus* (Candèze, 1873)

調査標本. 4 exs., 鹿児島県肝属郡南大隅町大浦, 9. XII. 2012 (材採集), 1 ex., 18. V. 2013 (羽化脱出), 3 exs., 24–26. V. 2013 (羽化脱出), 溝部採集・保管; 4 exs., 同地, 28. XII. 2013 (材採集), 10. VI. 2014 (羽化脱出), 溝部採集, 有本保管。

2. ホソツヤケシコメツキ *Hayekpenthes pallidus* (Lewis, 1894)



図1. 倒木を採取した周辺環境（左, 29. XII. 2012 撮影）; 採取したエノキ倒木（右, 10. VIII. 2012 撮影）。

調査標本. 2 exs., 鹿児島県肝属郡南大隅町大浦, 8. I. 2012 (材採集), 25. V. 2012 (羽化脱出), 溝部採集・保管; 4 exs., 同地, 29. XII. 2012 (材採集), 3 exs., 22–27. V. 2013 (羽化脱出), 1 ex. 9. VI. 2013 (羽化脱出), 溝部採集・保管。

3. チャイロコメツキ *Hatermelater bicarinatus bicarinatus* (Candèze, 1873)

調査標本. 4 exs., 鹿児島県肝属郡南大隅町大浦, 29. XII. 2012 (材採集), 1 ex., 20. VI. 2014 (羽化脱出), 3 exs., 29. VI.–4. VII. 2014 (羽化脱出), 溝部採集, 有本保管。

本種は「主として松樹の腐朽した根株中に生息し、通常6月頃に蛹になり、蛹期は10日間ほど」と記録されている（大平, 1962）。本記録では広葉樹から得られた点が異なっているが、羽化脱出の時期はおおよそ一致している。

4. クリイロアシトコメツキ *Podeonius aquilus aquilus* (Candèze, 1873)

調査標本. 2 exs., 鹿児島県肝属郡南大隅町大浦, 29. XII. 2012 (材採集), 20. VI. 2014 (羽化脱出), 溝部採集, 有本保管。

本種は「幼虫はハンノキ属 (*Alnus* 属) の根株中の腐朽した場所のみ生息し、岡崎附近ではヤシャブシ、ヒメヤシャブシに最も多い。老熟した個体は通常6月から7月上旬頃にかけて、蛹化する。蛹期は10～15日間ほど」と記録されている（大平, 1962）。本記録によりハンノキ属以外の樹種にも穿孔することが判明した。羽化脱出の時期は過去の記録とおおよそ一致している。

記録した種は、いずれも生息範囲が広く、九州において成虫は本稿で示したような海岸沿いの低地から標高1,000 m以上の森林にまで分布している。そのため、チャイロコメツキやクリイロアシトコメツキがこれまでの記録の通り特定の限られた樹種のみを嗜好しているとは考えにくく、本記録からも否定できる。これらの種の環境選好性は、穿孔材の腐蝕の程度や含水量が関係しているのではないかと予想される。

引用文献

大平仁夫, 1962. 日本産コメツキムシ科の幼虫の形態学的ならびに分類学的研究. iv+179 pp., 61 pls.

（有本晃一 812-8581 福岡市東区箱崎 6-10-1 九州大学大学院生物資源環境科学府昆虫学教室）
（溝部忠志 814-0174 福岡市早良区田隈 3-39-11）